

# GoGo 農大

2021 5月号

徳島県立農林水産  
総合技術支援センター  
農業大学校新聞

## GWも明け、学校生活、本格始動

5月6日、1年次生、2年次生ともに元気に登校を始めました。全国的に新型コロナウイルスが猛威を振るい、関西圏を中心に緊急事態宣言が発令される中、農大では、万全の感染防止対策を講じ、実習、講義等に臨んでいます。ただし、2年次生の農業体験学習や新入生レクリエーションは延期となりました。

1年次生は、5月31日くらいよいよコース実習が始まります。三者面談やコース面談、また、希望するプロジェクト研究を踏まえ、コースを決定しました。

プロジェクト研究は、2年次での研究成果発表会や卒業論文につながる大きな学習活動で、1年次生にとっては本格的な研究活動が始まります。

## 農作業等安全啓発研修

今年は、例年より早く梅雨入りとなりました。5月21日、雨の降るなか、1年次生を対象に農作業等安全啓発



研修が行われました。学生たちは、教室での講義と圃場での講習を受け、運搬車等の安全運転を心がけることがいかに重要であることを学びました。



運搬車等の安全運転を心がけましょう。



転落注意

## 「徳島農大そらそうじゃ」役員面接

5月24日、模擬会社「そらそうじゃ」1年次生の役割を決めるため、2年次生役員による面接を実施し、新たな体制での活動を行います。



## 5月28日、農業大学校後援会総会



## 農大生が農大のいいところを紹介します。

自然に囲まれての実習が楽しい。学校が楽しい。学校の雰囲気やゆつたりして、過ごしやすい。いろいろな農作物を育てているので自分がしたいことを見つけて取り組める(挑戦できる)。実際に自分で栽培できる。栽培したものを食べられる。生産だけでなく加工や販売もできる。圃場がほんとに広い(いい運動になる)。たくさん資格や免許の試験に挑戦できる。トラクターや運搬車に乗れる。農大アイスを買うことができる。学生たちはみんな仲がよい。まじめな学生が多い。クラスメイトが優しく、良い人ばかり。先生方が優しい。先生がていねいに分かりやすく教えてくれる。ベテラン講師が多い。経験豊富な方や現役の研究員の方の話を直接聞くことができる。マンツーマンで指導してもらえる。実習の一つ一つが専門的な技術や知識にあふれており、毎日たくさん学ぶことができる。校舎がきれいで、施設設備が充実している。六次産業化研究施設の機材が多い。図書室には専門書が多く、様々な知識が得られる。電子図書館で農業関係の専門書等が見られて便利。四年制大学への編入試験対策も受けられる。